



メールマガジン「ユニバーサルひょうご通信」第150号
発行:兵庫県ユニバーサル推進課 令和5年2月2日



【今月のピックアップ!】

- ① 第18回兵庫県障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」

【手話カフェ】

- ② CODA(コーダ)

【イベント・募集】

- ③ 兵庫ユニバーサルマラソン 2023 in 赤穂海浜公園
参加者募集中!! ♪潮風を感じながら一緒に走ろう♪

【お知らせ】

- ④ 「兵庫県障害者アートギャラリー」2月の催し



- ① 第18回兵庫県障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」

兵庫県では、障害者の文化芸術活動を通じた社会参加を支援するため「障害者芸術文化活動支援センター」を設置・運営し、障害者の作品等の発表機会の確保、鑑賞機会の拡大、活動を支える人材の育成を目的とする「障害者芸術「する・みる・ささえる」応援プロジェクト」を推進しています。

その一環として、障害者の自立と社会参加意欲を高め、県民の皆さんの障害者に対する理解認識を深めることを目的に、毎年、兵庫県障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」を開催しています。

障害者芸術を表す言葉はたくさんありますが、そのうちのひとつ「アールブリュット」は、「加工されていない生(き)のままのアー

ト」という意味を持つフランス語で、伝統や流行、教育などに左右されず、自身の内側から湧きあがる衝動のままに表現した芸術と解釈されています。

内側に湧き上がるものを表現した、と聞くと迫力のある作品を想像しがちですが、この作品展に寄せられる作品は「好きなもの」や「頭の中に浮かんだもの」をありのままに表現しましたと応募してくださる方も多く、見ているこちらまでウキウキしたり、思わず微笑んでしまうような作品がたくさん集まっています。

今年度は3月3日(金)から3日間、兵庫県立美術館ギャラリー棟3階ギャラリーで開催します。みなさん、ぜひお越しください。

◇日時 令和5年3月3日(金)～5日(日) (10時～17時半)

※最終日は14時まで

◇場所 兵庫県立美術館 ギャラリー棟3階 ギャラリー
(神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1)

◇入場 無料

■お問合せ

ひょうご障害者芸術文化活動支援センター
(兵庫県福祉部ユニバーサル推進課内)

TEL 078-362-4090 FAX 078-362-9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp

■障害者文化芸術活動推進法

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougai Shahukushi/bunka/houritsu_keikaku.html

②【手話カフェ】 CODA(コーダ)

最近、聴覚障害や手話をテーマにした映画やテレビ番組がたくさん放映されていますね。その中には、聞こえない人と聞こえる人の家族を取り上げたものがあります。

聞こえる(聴覚障害のない)子どもで、両親、あるいはどちらかの親に聴覚障害がある場合、その子どものことを CODA(コーダ)と呼びます。映画のタイトルなどで見たことがある方もおられるでしょう。CODA は Child of Deaf Adult(s) の頭文字をとった言葉です。

CODA は耳が聞こえない親を当たり前のこととして育ちます。家庭内では親がこちらを見てから話し始める、身振りや手の動きを付け加え、音声以外の方法を交えて会話するなどほかの家庭とは異なる経験をしながら育っていきます。兄弟姉妹で聞こえる子と聞こえない・聞こえにくい子が一緒に育つ場合もあります。

幼稚園や小学校に行くようになると、周りには圧倒的に耳が聞こえる人が増えて、音声コミュニケーションの機会が多くなり、自分の家庭の様子との違いをいろいろな場面で感じ始めるようになります。そして、それらの違いについて不思議に思ったり、当惑したりしながら、自分というもの(アイデンティティ)を形作っていきます。

CODA の多くが経験することのひとつに、自分の親と聞こえる周りの人との通訳役があります。生活の中でお互いの話を伝える役割を自然と担うことになる場合が多いです。

ずっと以前、制度や科学技術が十分でなかった頃、学校の面談で自分の進学の相談を自分が通訳をすとか、電話のできない親の代わりに電話をして、相手の大人が言うことが十分理解できずに怒られて悲しかったという話を聞いたことがあります。

また、両親が手話を使い、家庭内コミュニケーションが手話中心である場合、CODA は幼いころから手話を見て育ち、音声日本語とのバイリンガルになる割合が高いです。しかし、簡単な会話はできて、進路や友人関係などの話は自分の気持ちを伝えるのが難しく、親子のコミュニケーションが取れずに寂しい気持ちになることもあります。

CODA は、聞こえることと聞こえないことを身近に感じながら、それぞれの家庭で体験を積み重ね、年齢に差はあってもいずれは親の聴覚障害や手話について受容をしていくようです。

今、家族の世話を担う若い人のことを「ヤングケアラー」といい、配慮や支援が必要だといわれています。その対象には言語面で家族を助ける子どもも含まれていて、CODAもヤングケアラーだという考え方があります。

家族が障害者と言われることや、ほかの家庭との違いについて悩みを感じることも多いでしょう。何らかの支援が必要な時があるかもしれません。

けれど、CODAは聞こえる人と聞こえない人が一緒に生きていくことについて考えるヒントをたくさん持っている人たちでもあります。

聴覚障害や手話に関心が高まっている今、CODAの経験や意見に耳を傾けて、子どもの心や生活を守れるようにするとともに、聞こえない・聞こえにくい人と一緒に、暮らしやすい社会になるヒントをつかんでいくことができたらと思います。

■「手話カフェ総集編」もぜひどうぞ！

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/universal/shuwa_cafe1.html

③ 兵庫ユニバーサルマラソン2023 in 赤穂海浜公園

参加者募集中！！ ♪潮風を感じながら一緒に走ろう♪

障害者がユニバーサルマラソンを通じて、体力の維持増進と社会参加意欲の高揚を図るとともに、広く県民の参加のもとに障害者に対する理解を深める事を目的として「兵庫ユニバーサルマラソン2023in 赤穂海浜公園」を開催します。

この大会は障害の有無にかかわらずご参加いただけます。

- ◇日時 令和5年3月12日(日)
車いすロードレース 10:00 スタート
ユニバーサルリレー 11:00 スタート
- ◇場所 県立赤穂海浜公園
- ◇参加資格 大会当日 13歳以上の方
- ◇参加料 無料

◇締切り 令和5年2月24日(金)

■お申込みはこちら

◇車いすロードレース

<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1668497939131>

◇ユニバーサルリレー

<https://www.e-hyogo.elg-front.jp/hyogo/uketsuke/form.do?id=1669004421208>

■詳細はこちら

公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会

TEL 078-362-3237

FAX 078-362-9040

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/hw20_000000001.html

④ 「兵庫県障害者アートギャラリー」2月の催し

神戸市灘区の県立美術館王子分館「原田の森ギャラリー」内にある「兵庫県障害者アートギャラリー」では、3月21日(火祝)まで「こづかやま laboratory 『しないシナイ』が『したのシタノ』展」を開催しています。

興味のあること、こだわりたいこと、したいことを自由に表現した作品が展示室いっぱいに集まりました。心の内側から湧き上がるユニークな作品の世界をどうぞお楽しみください。

■「こづかやま laboratory 『しないシナイ』が『したのシタノ』展」

◇日時 開催中～3月21日(火祝)

10時～18時まで(最終日は16時閉場)

◇場所 兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー本館1階

(神戸市灘区原田通 3-8-30)

<https://hyogo-arts.or.jp/harada/exhibition/#2438>

■お問合せ

ひょうご障害者芸術文化活動支援センター

(兵庫県ユニバーサル推進課内)

TEL 078-362-4090 FAX 078-362-9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp

【編集・発行】

イベント情報や、メルマガの配信希望・中止等のご連絡は以下まで

兵庫県福祉部ユニバーサル推進課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5 丁目 10 番 1 号

TEL:078(362)4379 FAX:078(362)9040

Mail universal@pref.hyogo.lg.jp
